

社会学部

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

社会学部は、次に定める資質を身につけた者に、学士の学位を授与します。

1. 社会に生起する出来事を観察してそこから課題を見出し、社会学の知見を生かして考察して自分なりの解決策や企画を提示することができる。
2. 社会的な見方によって社会全般および身近な組織や地域を理解し、それを踏まえて自分の役割を考えることができる。
3. 社会学の理論や方法を用いて具体的な社会事象や人間関係を把握し、そこから自分の考えなどを言語表現、身体表現を通じて的確に伝え、よりよい社会関係を構築することができる。
4. 社会的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

社会学部では、次に示す方針に従い、教育課程を編成します。

<主体的研究科目群>

1. 社会における多様な問題群に関する知識を得ると共に、それを自分なりに消化し、解決に向けた方策を筋道立てて考察できるようになるための素材と訓練を課すための科目

<学部共通科目群>

1. 社会学の基本的な知識や分析用具を身につけ、使えるようにするための体系的知識の習得と訓練を課すための科目
2. 社会学の隣接領域の知識を得ながら、社会の多様なあり方を包括的に考察することができるようにするための科目

<専攻科目群>

1. 【講義】2年次までに身につける知識や考え方を踏まえ、各プログラムにおける基礎的な知識を身につけ、それをもとに専門的知識を一般社会において活用できるよう訓練を課すための科目
2. 【演習】2年次までに身につける知識や考え方、および、各プログラムにおける基礎的な知識を踏まえ、それを自分自身の課題に引きつけて活用し、ひとまとまりの考察や作品として提示することができるよう訓練を課すための科目

<関連科目群>

1. 専門科目における学びを踏まえ、卒業後の自身の進路を念頭に置いて、必要と見込まれる知識や考え方を身につけ、社会生活における専門知識の活用へとつなげられるよう訓練を課すための科目

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

社会学部では、目的とする人材を養成するために、以下のような学生の入学を期待しています。

- (1)大学の学びに必要な基礎学力としての知識や能力がある(知識・理解)
- (2)物事を多面的かつ論理的に考察することができる(思考・判断)
- (3)自分の考えを的確に表現し、伝えることができる(表現)
- (4)社会、人間、スポーツ、文化、環境などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある(関心・意欲)
- (5)積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度がある(態度)